



平成 23 年 4 月 19 日

各 位

本社所在地 東京都中野区中央二丁目 9 番 1 号
 会 社 名 健康ホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
 問 合 せ 先 取締役 香 西 哲 雄
 電 話 番 号 03-5337-1337
 U R L <http://www.kenkou-hd.com/>

主要 3 社月次売上高 (速報) のお知らせ

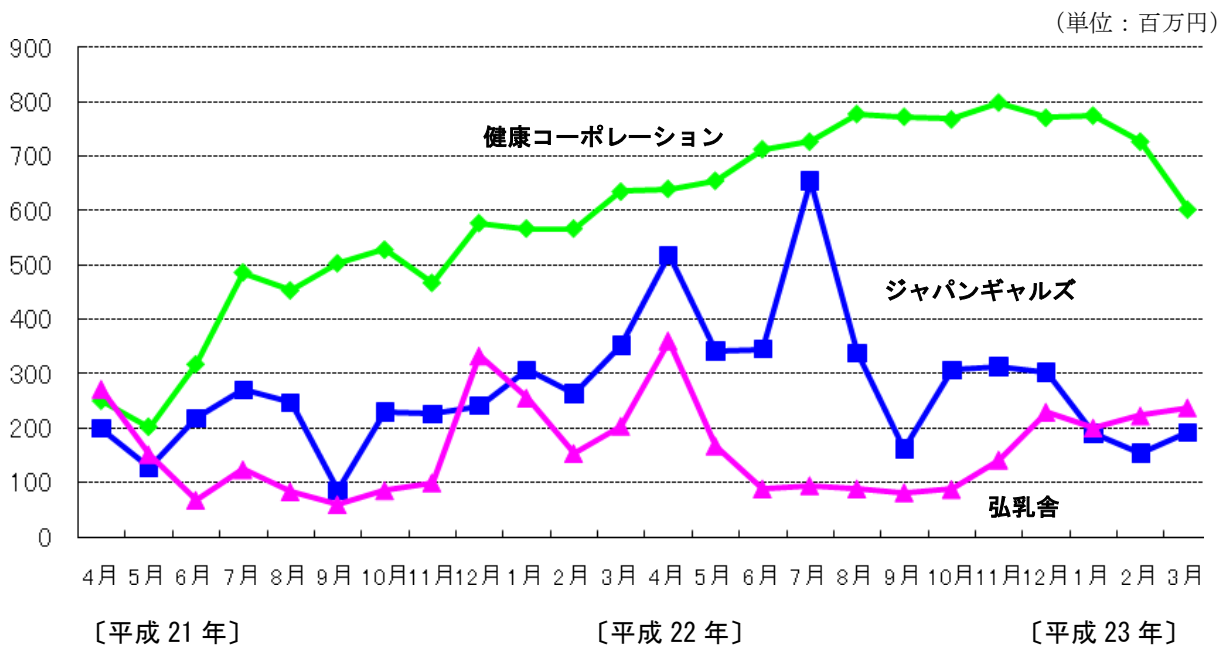
当社主要連結子会社 3 社の月次売上高につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

(単位：百万円)

	健康コーポレーション		ジャパングャルズ		弘乳舎	
	売上高	〔前年同月〕	売上高	〔前年同月〕	売上高	〔前年同月〕
平成 22 年 4 月 (実績)	644	〔250〕	518	〔199〕	361	〔272〕
平成 22 年 5 月 (実績)	659	〔202〕	342	〔128〕	168	〔152〕
平成 22 年 6 月 (実績)	711	〔317〕	345	〔218〕	89	〔68〕
平成 22 年 7 月 (実績)	727	〔484〕	655	〔270〕	95	〔124〕
平成 22 年 8 月 (実績)	778	〔453〕	338	〔246〕	89	〔84〕
平成 22 年 9 月 (実績)	773	〔503〕	162	〔85〕	82	〔59〕
平成 22 年 10 月 (実績)	768	〔528〕	307	〔229〕	88	〔86〕
平成 22 年 11 月 (実績)	799	〔467〕	313	〔226〕	142	〔100〕
平成 22 年 12 月 (実績)	771	〔577〕	302	〔241〕	230	〔333〕
平成 23 年 1 月 (実績)	775	〔567〕	190	〔307〕	201	〔256〕
平成 23 年 2 月 (実績)	727	〔567〕	154	〔263〕	223	〔154〕
平成 23 年 3 月 (速報)	602	〔635〕	191	〔352〕	237	〔203〕

- (注) 1. [] 内の数字は、前年同月の売上高
 2. 上記各社の売上高には、グループ間取引を含んでおります。連結決算においてこの種の取引は調整されるため、グループ各社の売上高の合計額と連結売上高とは異なります。
 3. 当第 3 四半期までの数値については監査法人による会計監査を受けておりますが、それ以降の数値については会計監査を受けておりません。



会社コメント：平成23年3月 主要3社売上高 概要

健康コーポレーション(株)

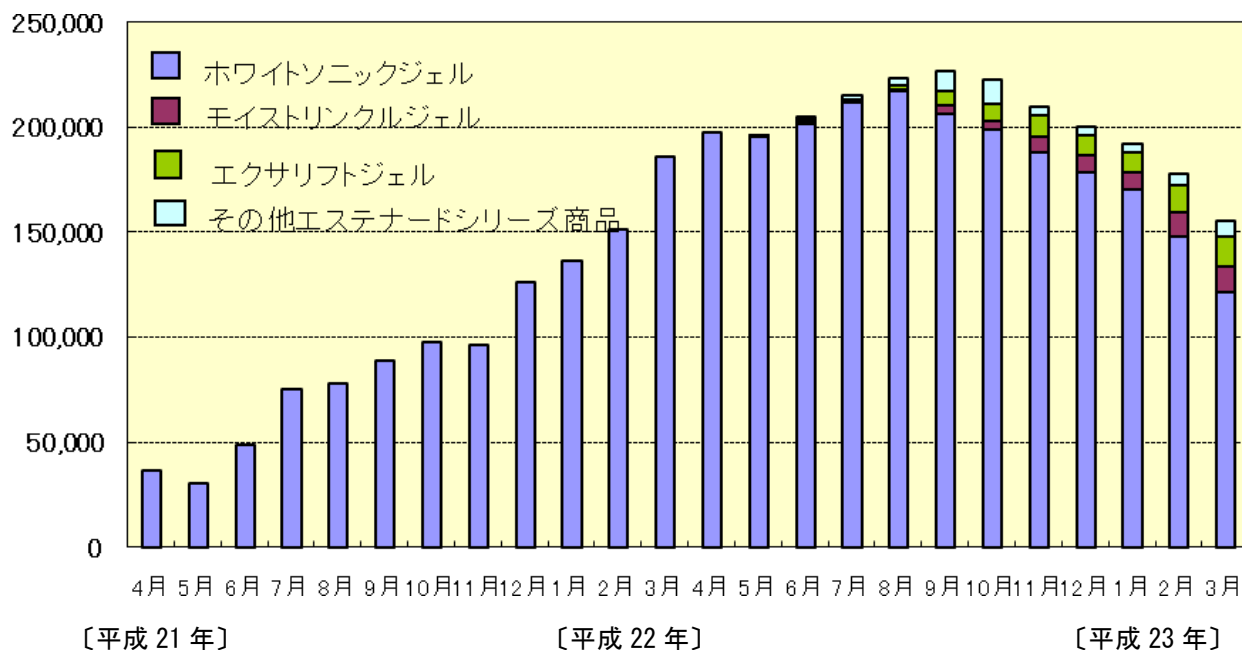
健康コーポレーション(株)におきましては、定期発送のホワイトソニックジェルの出荷が減少傾向にあったことに加え、平成23年3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」による震災を受け、当時既に契約していたものを除き、新規での広告宣伝活動を自粛したほか、既存の会員の皆様に対するお電話、E-Mailの配信、チラシ等の同梱についても自粛をいたしました。また、卸販売、取次事業につきましても、被災地域を除く地域を限定しての活動となりました。

これに加え、平成23年3月15日付の「東北地方太平洋沖地震における支援に関するお知らせ」ならびに平成23年4月6日付の「東北地方太平洋沖地震における支援に関するお知らせ(第2報)」で公表しましたとおり、平成23年3月15日(火)から平成23年3月31日(木)までの間の健康コーポレーション(株)が運営するショッピングサイト内での売上(総額12,522,118円)を義援金として日本赤十字社へ寄付いたしました。

前月まで順調に出荷本数を伸ばしておりました「どろあわわ」につきましては、前述の広告宣伝活動の自粛の影響はあったものの、出荷本数は約4万3千個と堅調に推移いたしました。

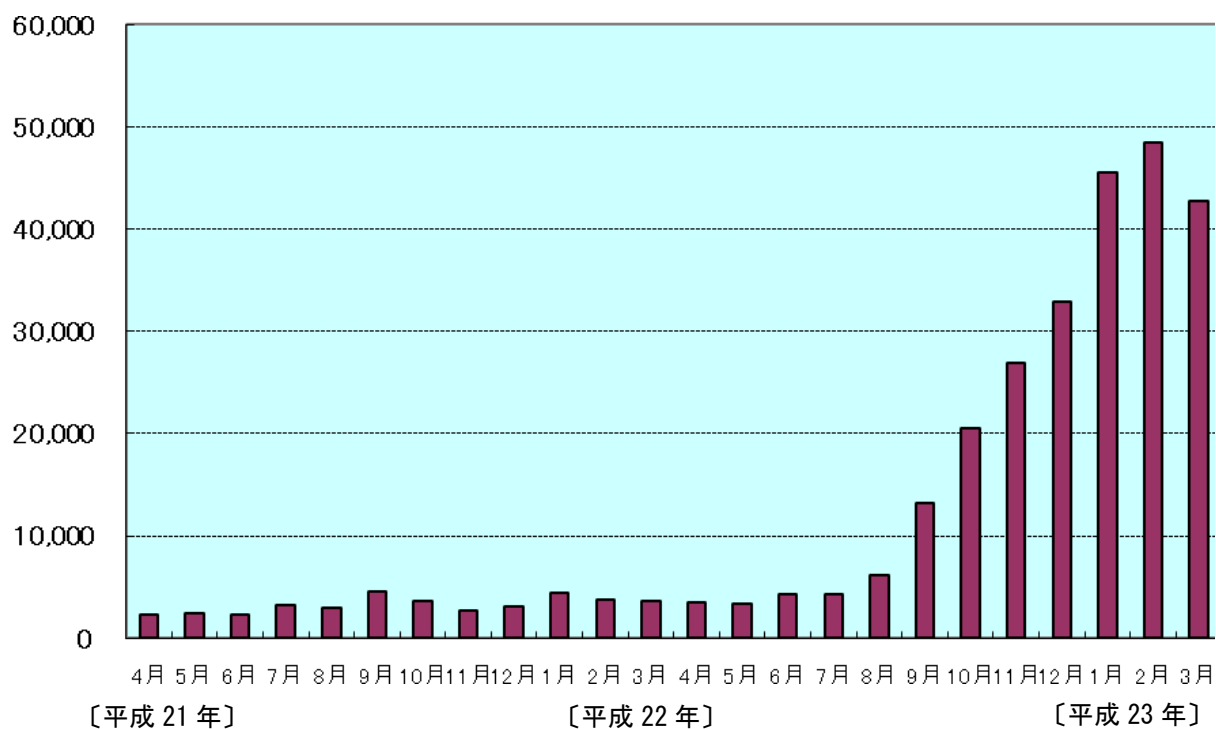
ご参考：「エステナードシリーズ」 ジェル出荷本数月別推移

(単位：本)



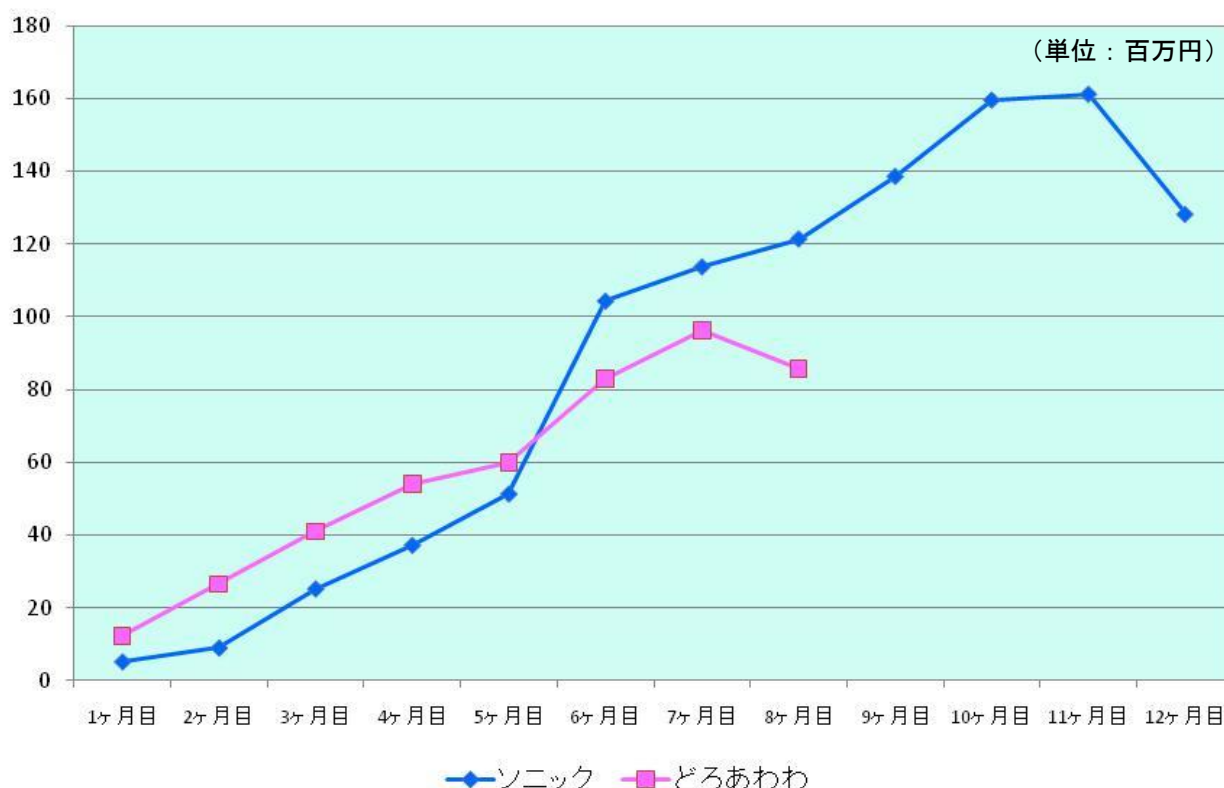
ご参考：「どろあわわ」 出荷個数月別推移

(単位：個)



リニューアル後の「どろあわわ」の売上高は、現在主力商品のエステナード「ソニック&ジェル」の発売当初のペースと同じ水準で推移しています。

ご参考：2商品の発売から1年間の単月月次売上高推移（出荷ベース）



㈱ジャパングヤルズ

3月の健康コーポレーション(株)に対する出荷は、約2千4百万円です。

東北地方太平洋沖地震の影響により、店頭販売の購買意欲の低下がやや見られたほか、OEM先の納品も少し時期がずれ込む等の影響がありました。

一方、3月発売の新商品は、数量限定で発売を開始したところ好評であり、リピート受注を受ける結果となっております。

㈱弘乳舎

例年、学校が春休みに入る3月下旬から学校給食の休止等による生産余剰生乳の発生により(株)弘乳舎は繁忙期となりますが、東北地方太平洋沖地震の影響により九州から東日本等へ生乳・牛乳が大量に移出され、九州での生産余剰乳の発生が計画されていたよりも大幅に減少いたしました。

これを受けて、(株)弘乳舎では、生産余剰乳処理委託者（農業協同組合連合会・乳業会社）からの処理委託キャンセルが相次ぎ、稼働率が大幅に低下いたしました。(株)弘乳舎では、生産余剰乳処理量の確保に向けた関連先への折衝強化や、今般新幹線が開通した熊本駅舎での物販・飲食店事業の強化等に取り組んでおります。

3月は生産余剰乳処理受託事業の減少が影響したものの、バター・脱脂粉乳の自社販売事業の売上増加が寄与し、全体として前年同月を上回る売上実績となりました。

以上